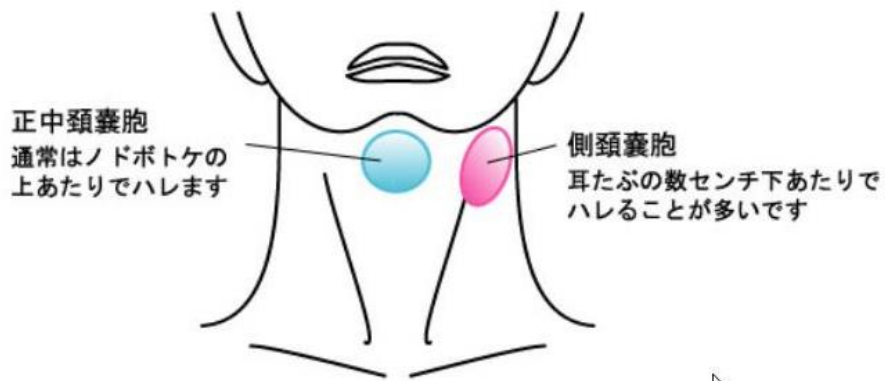

甲状舌管嚢胞（正中頸嚢胞）

甲状舌管嚢胞は、実際には小さいものも含めると人口の7%で見られるそうです。別名、正中頸嚢胞と呼ばれ、のど仏の上あたりにできます。



決して珍しいものではありませんが、大きくなってくる人は少ないようです。

通常は、耳鼻科医が診ることが多いようです。

がんの頻度は非常に稀ですから（今までに世界中で 150 例の報告があるの

み）、基本的には手術する必要はありません。

通常は、針を刺して液を何回か抜けば、縮小します。

